

# 会 議 録

会議の名称	守谷市図書館協議会（令和4年度 第2回）			
開催日時	令和4年10月20日（木） 開会：10時00分 閉会：11時30分			
開催場所	守谷中央図書館 3F 視聴覚室			
事務局（担当課）	教育委員会 中央図書館			
出席者	委員	長谷川委員長、野口副委員長、赤堀委員、川畑委員、藤平委員、堀越委員、広永委員（出席：7名）		
	その他			
	事務局	平塚館長、柳葉副館長		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2人	
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 協議内容 (1) 令和3年度事業実績評価について (2) 令和4年度上半期事業実績について (3) 第3回図書館協議会「視察研修」について (4) その他 4 閉会			
確定年月日	会議録署名			
令和5年4月10日	委員長 長谷川登代			

## 審 議 経 過

### 1 開 会

柳葉副館長 7名の委員が出席、守谷市図書館協議会設置条例第6条第2項の規定により会議は成立。傍聴者は2名。

### 2 挨 拶 長谷川委員長

### 3 協 議

#### (1) 令和3年度事業実績評価について

長谷川委員長：協議(1)の令和3年度事業実績評価について、事務局から説明をお願いします。

—平塚館長から説明—

令和3年度事業実績評価(案)に基づき説明。

長谷川委員長：ご意見、ご質問のある方はお願いします。

赤堀委員：以前、指定管理者が事業を行っていた時に、ADEAC(デジタルアーカイブ)を導入し、小学校4年生の授業で「小学校社会科副読本」を活用しているとの報告を受けたと記憶しています。現在、ADEACにおいて、「小学校社会科副読本」の活用はされていますか。

平塚館長：令和3年度において、ADEACの「小学校社会科副読本」の授業での実績について、どのくらいあったのかは、把握はしておりません。また、教職員に対し、ADEACの授業での活用について、アナウンスは行っていますが、こちらも令和3年度は、コロナ禍において、直接的なアナウンスができませんでした。

令和4年度は、新しい副読本を作成中であり、令和5年度において、当副読本の予算を計上する予定です。今後、授業での利活用について、教職員に周知を図っていきます。

堀越委員：2頁にて、守谷市のALTによる英語のおはなし会やシュテファニー氏によるおはなし会を開催したとのこと。

ALTやシュテファニー氏によるおはなし会について、開催時期と参加者について、詳細を教えてください。

平塚館長：8月6日に実施しましたシュテファニー氏によるおはなし会の参加者は、乳児と幼児で合わせて22名です。また、ALTによるおはなし会(1回開催)の参加者は19名で、講師はアンディ先生とルアン先生の2名です。開催日は、後ほど報告します。

川畑委員：P3のボランティア活動実績のなかった3団体を減数したとのこと。3団体とは、差し支えなければ教えていただけますか。

平塚館長：点訳ボランティアと2つの地区文庫団体の計3団体です。

川畑委員：マイナンバーカードの普及に伴い、今後、マイナンバーカードで図書館を利用できないか。

平塚館長：マイナンバーカードは、図書館利用カードと比較すると、全く違う情報であり情報量も多いこと。個人情報保護の観点から、現在のところ、マイナンバーカードでの図書館利用は考えておりません。

赤堀委員：私も、マイナンバーカードでの利用はしない方が良いと思います。

長谷川委員長：利便性を向上させるところとリスクを伴うところを踏まえながら、いろいろな方法を検討すれば良いのですから、意見はどんどん出してください。

川畑委員：5頁の「守谷中央図書館の利用に関するアンケート」の評価について、満足度のみの記載ではなく、「満足していない方」の意見も重要かと思います。アンケートには、いろんな意見があり、否定的な意見であっても、どのような意見があったのかを知る上で掲載すべきだと思います。

今後の記載方法について、検討していただきたい。

平塚館長：検討します。

野口副委員長：全体的によくまとまっていると思いますが、実績による前年比の表記が矢印表記に対し、4頁の前年比の表記のみが、数値になっている。矢印表記にした方が分かりやすいと思います。

平塚館長：承知しました。

野口副委員長：1頁の評価のADACについて、「守谷の歴史を目と耳で楽しむことができる」となっており、魅力的なコンテンツだと思いました。ぜひ、多くの先生方に知っていて、学校で活用していただきたい。

また、2頁に、英語とドイツ語のおはなし会が開催されていることがとても素晴らしい。多言語に触れる機会は、実は、良くありそうで他の図書館ではあまり例がない良い取り組みですので、ぜひ、もっと外に発信していただきたいと思いました。

長谷川委員長：以前、ボランティアグループの方々が、他国の方によるおはなし会を実施した経緯もあります。さらに、ALTの方は、いろいろな国から来ています。他国の民族文化に触れる良い機会ですので、ALTの方をもっと活用すべきだと思います。

さらに、「茨城県読書を進める協議会」では、英語の読み聞かせを行っています。また、他国の方に限らず、日本の方にもお願いしても良いのではと思います。

野口副委員長：今は英語とドイツ語ですが、他言語に広げていくことができる取り組みであり、広がりという意味では、これから可能性のある取り組みであると感じました。

長谷川委員長：シェアハウスの学生について、これは筑波大の学生の事ですか。  
平塚館長：筑波大の学生が多かったです。しかし、残念ながら、現在入居者はおりません。2年間の利用でしたが、その時は、おはなし会やイベントを行っていただきました。

長谷川委員長：もう活用はしないのですか。  
堀越委員：市民協働推進課で場所は用意募集をしている状況ですが、応募してくる学生はあくまでも個人の意思であり、今年度は、過去に入居していた方はすでに卒業をされていると聞いています。

藤平委員：外国語で行うおはなし会は、大人の方を対象にしているのですか。  
平塚館長：いえ、お子さんが対象です。  
藤平委員：川畑委員：いろいろな外国語を行っているのですか。また、対象の子どもは何歳くらいですか。

平塚館長：英語とドイツ語です。国際交流員の方が英語とドイツ語を話していますので…。対象は、乳児から幼児までとなっています。

藤平委員：私も、普段、読み聞かせをしています。そこで、「子ども同士での読み聞かせをしたらどうか」と思っているのですが…。  
いかがでしょうか。

平塚館長：ありがとうございます。今年の4月から、第4次子ども読書推進計画を進めております。この計画において、学校の取り組みとして、「学校において上級生から下級生に読み聞かせを行う」というような取組を挙げています。とても、良い取組みですので、進めていきたいと考えております

藤平委員：中学校のブックパックとは、どういう事業ですか。  
平塚館長：ブックパックとは、学年毎に一定期間、図書館で選定した本をセットし、箱に入れて貸出しています。さらに、この箱は、各学校に配送し、回収も行っております。

## (2) 令和4年度上半期事業実績について

長谷川委員長：協議(2) 令和4年度上半期事業実績について、事務局から説明をお願いします。

—平塚館長から説明—

「令和4年度上半期事業実績」に基づき説明。

川畑委員：「図書館ナイトツアー」とは、何ですか。

柳葉副館長：閉館後に行う図書館見学のことであり、内容は、夜のおはなし会や部屋を暗くし懐中電灯で照らしながら、探検をするような気分で館内を回るといった企画です。

赤堀委員：「平和ってなに？」の企画では、ハートの用紙に私も記入した記憶があります。今回、写真を撮っていましたが、各々記入した用紙

の記録は取ってありますか。

平塚館長：写真は収めていますが、記録は取ってありません。

長谷川委員長：「植物化石を発掘しよう」という企画は、どのような内容ですか。

平塚館長：茨城県自然博物館の首席学芸員の方に講師依頼し、発掘用のキットがあり、これを用いて実施しました。

長谷川委員長：「ホームプロジェクト」とは、何ですか。

平塚館長：夏の自由研究のような自主的に活動し課題学習のこと。今回のテーマは「守谷のまちづくり」についての内容でした。

長谷川委員長：「わんちゃんと読書」という企画にとっても興味が沸きました。

広永委員：このような企画は、とても思い出が残る良い企画です。

赤堀委員：ビブリオバトルについて、以前、三芳町立図書館に視察に行った際、ビブリオバトルの結果について、年代別の報告書があった。守谷市において開催された際、三芳町と同じように記録をまとめる等をした方が良いと思います。

長谷川委員長：県のビブリオバトルは、ZOOMで見ることが出来るので、参考にはなります。

### (3) 第3回図書館協議会「視察研修」について

—平塚館長から説明—

「北茨城市立図書館視察」の概要について説明。

—意見なし—

### (4) その他

—柳葉副館長から説明—

前回（第1回）の協議会にて報告した「令和4年度図書館概要」について、指摘等の修正箇所の報告。

—意見なし—

## 4 閉会

柳葉副館長：それでは、以上をもちまして本日の図書館協議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。